

全国統一小学生テスト 対策授業

国3年生
語生

① 物語文の読み方

◆ 場面を読みとろう

① 場面とは

童話や物語の中で、時間や場所、できごとなどによって分けられる一つのまとまりを「場面」といいます。童話や物語は、いくつかの場面からできています。どんな場面かをつかんでいくことが、話のすじや登場人物の気持ちを理解する大きな手助けとなります。

② 場面をつかむには

・「時（いつ）」を読みとろう

時間や季節などがわかる表現をみつけましょう。

…きのう・十年前・さくらの花がさき（春） など

・「場所（どこで）」を読みとろう

どんな場所なのかわかる表現をみつけましょう。

…東京に着くと・教室では・波の音が聞こえてきた（海の近く） など

・「登場人物（だれが）」を読みとろう

人の名前や人との関係、名前のついていない人もみつけましょう

…まさきは・いちばんなかのいい友だち・五才くらいのもとも など

・「できごと（どうした）」を読みとろう

登場人物の行動に注意しましょう。「何がどうなったのか」を読みとること

は、とても大切なことです。

◆ 気持ちを読みとろう

① 気持ちがかかれていいることばを見つけよう

〈れい〉

小さな女の子がひとりでないでいます。わたしたちは、心配になって、車をおりました。

わたしたちは、「心配な気持ち」になっています。

では、なぜ「心配な気持ち」になったのでしょうか。

それは、「ひとりでないでいる小さな女の子を見かけたから」です。

このように、人が、ある気持ちになるのには、何か理由があります。気持ちを読みとるときは、かならず「なぜそういう気持ちになったのか」を考えましょう。

気持ちをあらわすことばには、「うれしい」「悲しい」のように、気持ちをそのままあらわしたことばと、「わくわくする」「気にかかる」のように、どのような気持ちをあらわすのかを知らない、気持ちがわからないことばがあります。

「わくわくする」は「楽しいことを期待する気持ち」、「気にかかる」は「心配する気持ち」を表すことばです。気持ちを読みとるためには、このようなことばの意味を、たくさんおぼえることも大切です。

② 表情やようすが書かれている部分を見つけよう

〈れい〉
テストの結果がわるかったので、家の近くまでくると、ゆりこの足は重くなりました。

「足が重くなる」というのは、歩くようすをあらわしていますが、足が進まなくなるようすから、「家に帰りたくない」という気持ちが読みとれます。

ほかに、「顔が赤くなる」のようなことばがあります。「顔が赤くなる」からは「はずかしい気持ち」が読みとれますね。

③ 動作や会話が書かれている部分を見つけよう

〈れい〉
よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出しています。それを見て、なぎさはかけよりました。

「かけよりました」という行動だけでは、気持ちはわかりません。けれども、「よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出している」というようすがわかっていれば、「かけよりました」という行動から「妹を助けなければ」というなぎさの気持ちがわかります。

◆ 登場人物の性格を読みとろう

① 人物の性格とは

人物の気持ちは、いろいろなできごとによってへんかしますが、人物の性格は、作品を通してわかることはありません。

童話や物語では、登場人物、とくに主人公の性格が、作品でいちばんつたえたいことをあらわしていることも多いので、性格を読みとることはとても大切です。

② 性格を読みとるには

・性格をそのままのべていることばを見つけよう

〈れい〉

やさしい人・明るい子 など

・顔かたちやすがたについての表現を見つけよう

〈れい〉

目じりがつりあがっている（こわそう） など

・年れいや身分などについての表現を見つけよう

〈れい〉

新しいランドセルをしょって（一年生）

指には大きなダイヤモンド（お金持ち） など

・動作や会話からその人の性格をとらえよう

〈れい〉

川でおぼれている人をみつけると、すぐに川へとびこんだ（勇気がある）

「荷物を持ちましょうか」と声をかけた（親切） など

②

文章問題にチャレンジ！

吾一は、友だちと話しているうちに、うそのじまん話をしてしまいます。次の文章は、それを聞いた友だちの会話から始まります。よく読んで、後の問いに答えなさい。

「ほかの人なら、どうか知んねえけど、吾一ちゃんじゃ、おらあ、あぶねえと思うな。」

「まあ、作ちゃんたらずいぶんね。そんなこと言うんなら、吾一ちゃんやってみせておやりよ。」

ひいきの役者を応援するように、おきぬは負けぬ気になって、吾一のひげを突つついた。

しかし、吾一はすぐ、

「うん、やってみせるとも。」

とは言わなかった。

おきぬが、とかく吾一の肩を持つのを、日ごろからおもしろくなく思っ

45 40 35 30 25 20 15

ていたところへ、彼女がまたしても今のようなことを言い出したので、作次はなおむきになった。

「やってみせる？ そいつはおもしろいや。ぜひやってもらおうじゃねえか。——なあ、みんな。吾一ちゃんがどんなふう^{てつきよう}に鉄橋につるさがるか、みんなして見物しようよ。おきぬちゃんの前だときつとすてきだぜ。」

吾一は、作次の言っていることなんか、ほとんど耳に、はいらなかった。しかし、声だけは、ビンビンひびく彼の声だけは、クギを打たれるように、①ズシン、ズシン、吾一のからだの中にめりこんだ。

彼は、火のそばにいながら、ちつとも火を感じなかった。そのくせ、すきまもなく屋根にかぶせてある松の葉のあいだから、金粉のようにこまかく、小屋の中にこぼれてくる日の光だけは、ありありと、彼の目^めにうつっていた。こんな場合、そんなものをながめているひまなぞないはずだが、吾一は不思議に、そのきらきらする金粉に見とれていた。

「おい、吾一ちゃん、どうしたんだ。なぜ黙っているんだ。」

「……」

「できねえんか。——そうだろう。できねえんだろう。さっき言ったなあ。ありや、みんな、うそなんだろう。」

「うそなもんかい。」

吾一はきゆうに作次のほうを向いて、はね返すように答えた。しかし、その声はかすれていた。

「そんならやってみろ。」

「――」

「いま、すぐにだぞ。」

「2」

「あした、なんてだめだい。今、すぐにやれ。」

「……」

「3」

「……」

「あしたやるなんて言うのは、できねえからだ。できなくって逃げよう^にと思っっているんだ。よわ虫！」

「ようし、そんなこと言うんなら、ちくしょう、②今、やってやるとも！」

「吾一ちゃん、大丈夫？」

おきぬは、自分で言い出したことではあるが、なんだか、こわくなってきたので、吾一の顔を心配そうに見まもった。

「大丈夫。」

そういわれて、今さらだめだとは言えなかった。しかし実際は、大丈夫どころか、吾一は鉄橋にぶらさがったことなど一度もないのである。その場の

行きがかりで、つい、あんなことを言ってしまったのだが、ほんとうにぶらさがれるものか、ぶらさがれないものか、彼にはちっとも※目算がないのである。こうなってくると、おきぬが自分に※肩を入れてくれたことが、むしろ、うらめしかった。

(山本有三「路傍の石」より)

※ とかく…あれこれ。いろいろ。 ※ 肩を持つ…味方する。
 ※ 目算がない…見当がつかない。 ※ 肩を入れてくれた…応援してくれた。

問一

「ー」「s」「3」に入る最もふさわしい会話文を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア こんなにいい天気じゃねえか、今やれねえんなら、あしたになったって、やるもんか。

イ やってみるとも。

ウ あした、やるよ。

1

2

3

ヒント

1 「そんならやってみろ」と作次に言われて、吾一はどう答えたのか考えます。

2 「いま、すぐに」やれと言われたことへの返事です。そしてすぐ後ろで、「あした、なんてためだい」と言われていますね。

3 「すぐに」やれと言われてだまってしまった吾一に、作次が調子にのってたためかかけています。

問二

線①「ズシン、ズシン、ズシン、吾一のからだの中にめりこんだ」とありますが、何がめりこんだのですか。次の にあてはまることを書きぬきなさい。

・ 二字の 一字

の

(2) なぜ「ズシン、ズシン、ズシン、吾一のからだの中にめりこんだ」のですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 吾一が耳にけがをしているから。

イ 吾一が作次のことをきらっているから。

ウ 作次が大きな声でさげんんでいるから。

エ 吾一にとって重大な内容だから。

ヒント

(1) 「しかし、声だけは、ビンビンひびく彼の声だけはくめりこんだ」とありますね。「彼」とはだれのことでしょう。

(2) 吾一は作次から「鉄橋につるさが」って見せろと言われているのです。

問三

——線②「今、やってやるとも！」とありますが、

- (1) 何をやるのですか。次の にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

・ 一三字の見ている前で 二二字に 三五字こと。

1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (2) このときの吾一の作次に対^{たい}する気持^{きもち}ちとしてあてはまらないものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 作次にばかにされてくやしい。
 イ うそつきよばわりする作次を見返^{みかえ}してやりたい。
 ウ 作次の願^{ねが}いをかなえてやりたい。

ヒント

- (1) 作次が「ぜひやってもらおうじゃねえか。く吾一ちゃんがどんなふう
 に鉄橋につるさがるか、みんなして見物しようよ」と言^いっていましたね。
 (2) 「できなくて逃げようと思^{おも}っているんだ。よわ虫！」と言^いわれ
 て、吾一はどう思^{おも}ったのでしょうか。

問四

次のアくウが本文の内容に合^あってい^いれば○、合^あってい^いなければ×をそれぞれ書きなさい。

- ア 吾一はこれまでに鉄橋にぶらさがったことがある。
 イ おきぬは、吾一と作次を伸直^{のびなお}りさせたいと思^{おも}っている。
 ウ 作次は吾一が鉄橋にぶらさがれるとは思^{おも}っていない。

ア	<input type="text"/>
イ	<input type="text"/>
ウ	<input type="text"/>

ヒント

本文をていねいに読みかえしましょう。作次がむきになって「やってみろ」と吾一をせめたてたのは、吾一が鉄橋にぶらさがれると思^{おも}っているからかどうか、考えてみましょう。

③ ことばの問題にチャレンジ！

◆ 漢字の画数

漢字は点と線からできていますが、この一つ一つの点や線を漢字の「画」とい
い、その数を「画数」といいます。

(1) 総画数

一つの漢字を組み立てているすべての「画」の数を「総画数」といいます。

例 言 ↓、 讠 讠 言 言 言 (7画)

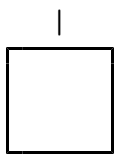
(2) まちがえやすい画数の漢字

例	2画：七	九	刀	3画：夕	女子
	4画：予	五	水	5画：世	写号
	6画：糸	向	光	7画：医	局投
	8画：步	画	取	9画：係	発級
	10画：宮	馬	庭	11画：祭	第進
	12画：遊	階		13画：園	農路
	14画：駅			15画：横	

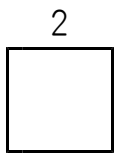
チャレンジ問題①

次の漢字の総画数を算用数字で答えなさい。

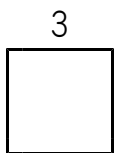
- 1 丸 2 級 3 世 4 陽 5 追



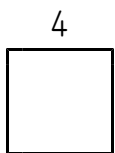
画



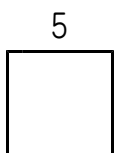
画



画



画



画

◆ 国語辞典の使い方

一つの言葉がいくつもの意味をもっている場合は、その中からふさわしいもの
を選びます。

例 「今度はこの手^てでいこう。」 ↓ ⑤

【手】

- ①肩から指先までの全体。 ②手首から先の部分。 ③器物や道具の一部
分。 ④働く人員。 ⑤方法。 ⑥処置。 ⑦実力。 ⑧てま。 ⑨関係。

チャレンジ問題②

「切る」という言葉の意味を国語辞典で調べたら、ア～エのような意味が出ていました。次の1～4の文の――線「切る」の意味としてふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- 1 紙を切る。
- 2 スイッチを切る。
- 3 スタートを切る。
- 4 十秒を切る。

ア ある金額や数量より少なくなる。
イ 続いているものをはなして別々にする。
ウ 新しく始める。
エ 続いていたことをやめて、終わりにする。

1

2

3

4